

令和4年度薬円台公民館事業計画

1. 地域の状況

薬円台公民館の管区は、薬円台、七林町、薬園台町全地域としている。古くは江戸時代中期に薬草園として開発された地域で、その後は、畑作の新田村として受け継がれてきたが、現在では、農地の大部分が住宅となり、中規模マンションが増えつつある。新京成薬園台駅前には、常に、地域のボランティア団体によって四季の花が植えられている。対象区域の面積は1.56平方キロで、対象人口は令和3年10月1日現在、18,309人である。地域には小学校3校、中学校1校、高等学校1校があり、さらに郷土資料館、社会福祉会館があり、文化の町の趣を呈している。

2. 地域の課題

- (1) 地域の中央を東西に走る国道296号線(旧成田街道)の慢性的な交通渋滞と、そこから住宅街に網の目のように伸びる生活道路の狭さが課題の一つと考えられる。市内の他地域と比べても大規模な災害にみまわれる可能性は低いものの、火災や防犯といった身近な不安を抱えている。
- (2) 管区内に学校も多く、他の地域に比べ子育て世代の人口比率が高い。高齢化率も市内平均よりやや低い数値(23.1%)となっている。それぞれが家庭内に閉じこもらないように、個人でも気軽に参加できるような事業の開催が必要である。
- (3) 自分たちが住む町への興味や愛着を増すことで、地域のコミュニケーション力を進める事業が必要である。
- (4) 自らのスキルや経験を生かして地域に貢献したいというニーズが高い。(生涯学習におけるアンケート) 企画・運営への積極的な参加の推進や、ボランティアとしての活動する場の提供が求められている。
- (5) 健康への漠然とした不安を抱えながらも、実際体を動かす機会に恵まれない方が多い。運動を習慣づけるきっかけとして、スポーツに関する事業の展開が求められている。

3. 重点目標

- (1) 安心して暮らせる街づくりとして、対象別(児童・高齢者)の交通安全教室などの、防犯・防災事業を行う。また、災害時には福祉避難所として避難者に対しても安全な施設管理に努める。
- (2) 青少年の健全育成を推進するため、地域の学校・PTA、児童ホーム、青少年関係団体と連携を深めながら青少年に様々な体験の場を提供し、心豊かにたくましく生きる子供の育成に努める。

- (3) 子供の成長に合わせた育児を支援するため、乳幼児親子を対象とした事業を実施すると共に子育て中の親同士,さらには祖父母の世代までが交流できる機会の提供に努める。
- (4) 子供から高齢者まで地域住民の多様な学習ニーズに応えられるよう、生涯学習コーディネーターや各事業の委員と共に事業を企画・運営し、地域住民との協働事業の充実に努める。
- (5) 薬田台地区町会自治会連絡協議会、薬田台地区社会福祉協議会等と共にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむ機会を作り、また、地域スポーツ活動等を積極的に推進・支援していくことにより、地域住民が生涯健康で豊かな心と身体を育むように努める。
- (6) 地域の一体感を高め、スポーツへの興味と参加を促すために「千葉ジェッツふなばし」講演会を開催。また、だれでも気軽に取り組めることをきっかけにしながら、多様化する社会で、共に生きるための気づきとして、パラスポーツの普及と振興にも助力する。
- (7) 情報化社会に乗り遅れることが無いように、初心者や高齢者に向けたデジタルデバイド対策に取り組む。